

13. 看護学部ニュースレターの発行

看護学部では、平成23年度から、学生生活通信『fure-fure』を年2回発行している。保護者に郵送するとともに、看護学部ホームページ（広報物&映像）に掲載している。『fure-fure』という名称には、学生を応援する気持ちと、学生が誰かを応援できるようになる願いが込められている。学生一人ひとりの学びの過程を教員が見守り、個性を尊重した教育を大切に、人と人とのつながりを大切にする校風の中で、学生が力強く歩んでいる姿、エネルギー溢れる学生生活を伝えている。

令和5年度は7月に第25号、3月に第26号を発行した。第25号では、令和5年4月に着任した、医療情報学・統計学の小林秀行先生、公衆衛生学・疫学の立木隆広先生、在宅看護学の中井寿雄先生、急性期看護学の村川由加理先生からご挨拶の文章を寄せていただいた。各学年担当からは、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学生の課外活動等への参加が増え、他学部や地域の人々との出会いや交流を深めている様子や、より専門的な知識・技術を習得するために施行錯誤しながら、コツコツと努力する姿などが紹介された。

第26号では、池田光徳先生より、大学での勉強の仕方というテーマでメッセージをいただいた。続いて、令和4年度から1回生後期に実施している在宅老所でのふれあい看護実習と、令和3年度から始まった選択実習科目「看護地域フィールドワーク」について、紹介している。さらに、学生の活動については、令和2年に創設された「UKO手話サークル」は、今年度、看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部併せて50名以上のメンバーとなり、聴覚障がい者・手話の理解を深め、また、普及活動が行われていることが紹介された。

各学年担当からは、学生がより専門的な知識や技術習得に努力している様子や、臨地実習や就職ガイダンスを受けながら将来像を少しずつ描いている様子、国家試験に向けて頑張っている様子などが紹介された。